

銚子の魅力を発信するちょよ!



# のI♡銚子

第79回

## 古民家再生で漁師町が生まれ変わる

### 和泉大介さんの巻

#### 銚子観光大使の新たな挑戦に密着するちょよ

#### 銚子の救世主、空き家の救世主へ

「銚子の暮らしを体感してもらえ、魅力的な一棟、貸宿を作りたい」平成26年の銚子電鉄脱線事故。故障した車両を修理するため、クラウドファンディングで約500万円の資金を調達・寄付するために銚子商業生の

一人として奔走した和泉さん。その後、獨協大学進学後も銚子のPRを続け、3年生で銚子観光大使に任命された。大学卒業後、就職、銀座の一等地への飲食店創業、そして、地元銚子に

帰ってきた。この数年の人のつながりが今に活かしている。



目の前に広がる外川漁港。築50年の食堂をリノベーション1階はカフェ、2階は宿。どこか懐かしい漁師町の雰囲気を感じて

▲ 銚子観光大使の和泉大介さん(27歳)。6月オープン予定の2棟目の貸宿

## moyai - 舩 -

～港に停泊する、町のフロント～  
外川町1-10855-5



和泉さんが再生を手掛ける2棟目の貸宿

1階 カフェ&ラウンジ

週末は朝カフェも/  
tokiyori café (トキヨリカフェ)  
11時30分～16時 | 18時～21時

2階 宿泊施設

問 和泉さん ☎070 (3663) 6172



no.555



1階「tokiyori café」の皆さん。代表の谷川晃熙さんは外川町出身のシンガーソングライター



外川漁港を見て朝食を



歴史ある漁村に思いを馳せる



和泉屋

「銀座のお店を閉め、落ち込んでいるときに市内の不動産屋の社長さんと出会った。これが人生の転機。外川で海が見える貸宿を探していることを相談し、空き家の再生が始まった」なるべく早く空き家を手放したい人と、リノベーションして活用したい和泉さんとのWin-Winな関係で、事業の好循環が生まれている。

貸の自由さが評価されている。ジョジョの奇妙な挑戦  
2棟目「moyai」の1階、トキヨリカフェの谷川晃熙代表(24歳)はシンガーソングライター。都内で3年間イタリア料理の修行をして、銚子でカフェを出店する夢を叶えた。「出会いはいライブスタジオのJ.O.。テルキの人柄に魅せられ、カフェの新店を相談した。頼もしい5人の友とともにトキヨリを育てていきたい」と和泉さん。  
人にも町にも歴史あり。当時の様相を残し、古民家再生に奮闘する和

これからの時代をつくる世代の熱量が嬉しいちょよ

泉さんの歴史も、ここからまた始まる。

### 《甞る空き家》

- ① 漁村一棟貸宿 和泉屋(外川町) [令和4年11月オープン]
- ② moyai-舩-(外川町) 1階はカフェ、2階は宿泊施設 [令和6年6月オープン]
- ③ 和モダン貸切宿(外川町) [令和6年7月オープン]
- ④ サウナ付き石蔵ホテル(新地町) [令和7年3月オープン]



人のうごき 令和6年5月1日現在 人口 54,620人(-26人) うち外国人住民人口 2,679人  
男 26,738人(31人) 女 27,882人(-57人) 世帯 26,805世帯(88世帯) ※カッコは前月比  
令和6年4月中の人口動態 出生 8人 死亡 77人 転入など 242人 転出など 199人

広報ちようし

令和6年6月号第1269号 令和6年6月1日発行

発行/銚子市 編集/秘書広報室

〒288-8601 銚子市若宮町1-1

☎0479 (24) 8181 (代表)

HP: <https://www.city.choshi.chiba.jp/>

広報ちようしは、読みやすわかりやすいデザインのものを使用しています。